

# バイオリンク販売

# EGGF美容飲料、本格発売へ

EGGF化粧品のリレーディングカンパニー・バイオリンク販売では、特定非営利活動法人 日本EGGF協会やJSCAM日本臨床抗老化医学会などを通じて、飲むEGGF美容飲料「EGGFエクストラチャードリンク」のモニタリングを実施してきたが、一定の評価を得たとしてこの程、市場投入を開始した。皮膚細胞再生因子で一躍話題を集めてきたEGGFだが、もともと唾液や母乳に多く含まれる成分で未完全な消化器官を成熟させ、上皮細胞を増殖させることは知られていた。しかし加齢と共に分泌量が減少することから、とくにドライマウスなどEGGF分泌の影響で歯科口腔や消化器系の疾患を引き起こす要因にもなることが知られている。体内アンチエイジングを促すこのドリンク発売で、同社では医療機関に販路を広げる手ごたえをつかんだとしている。

## 医療機関5施設、一般ユーザーに

## モニタリング実施

同社では医師、歯科医師に呼びかけた結果、JSCAM会員医師を含め5施設からモニタリング希望がきた。その内訳は、内科、歯科などで対象となる被験者は口内炎で悩む患者、口腔内外科手術後の創傷の回復を期待する患者、胃腸など

の消化器系(潰瘍など)疾患の患者、さらにはにきびなどの美容皮膚領域での「EGGFエクストラチャードリンク」のスクリーニングと評価であった。

とのわけ注目されたのは、北海道の口腔外科を専門とする病院で実施された9症例の結果で、2週間から1ヶ月でのモニタリング期間にも関わらず、口腔内外科手術後の創傷治癒に評価が良かったようだ。5症例で医師の「治りが良い」との所見を得たほか、術後に飲む処方薬(抗生剤、消炎鎮痛剤)の痛みがドリンクの併用で緩和された、とする患者の感想も聞かれた。他方、日本EGGF協会を

は上皮成長因子であり、上皮とは口腔内、食道、胃、小腸、大腸の壁面もすべて含まれるため、EGGFの果たす役割は大きい」と同社の社長。

医療機関への販路は確実に増えるとして、従来のEGGF化粧品を外面のアンチエイジング、この「EGGFエクストラチャードリンク」を体内アンチエイジングと位置づけ、啓蒙を進めるとしている。

ドリンクには、2000ngのEGGFが配合される他、海洋性コラーゲンやヒアルロン酸を処方して内面美容ドリンクとしても認知

は「EGGF」が今年医療の表舞台に立つ可能性がみえてきた。

### 【LUGLについて】

53のアミノ酸を含むポリペプチドの構造をもち、体内で形成されるタンパク質の一種「EGGF」は、皮膚の表面にある受容体と結びついて新たな細胞の生産を促進する。老化と共に減少するこの生理活性物質は、損傷した皮膚を修復したり、紫外線などの有害物質から皮膚を守る重要な役割を担っている。発見者コーエン博士は、後にノーベル生理学賞を受賞することになるが、そのEGGF協会では、EGGFやその化粧品は、正しい普及啓発のために講演を行なうほか、公正な機関としてEGGF原料の品質、生理活性

表示商品が一部出回っていることから、第三者機関による検証、情報公開が始まった。それが日本EGGF協会、専門家や医療関係者などと連携を取りながら第三者的な視点で検証することにより、消費者に正確で安全かつ有益なEGGFの情報を提供している。また、日本EGGF協会では、

【ドライマウスについて】近年、口の中が乾く、食べ物や飲み込みにくい、話づらい、口臭が出るといった口の渇きに悩む人が増えている。いわゆるドライマウスで口腔乾燥症である。

原因は、薬剤の副作用、老化、筋肉低下、糖尿病などが考えられるが、ストレスによるものも少なくない。緊張した社会の中で、交感神経が優位になり唾液分泌が慢性的に抑えられるといった障害によって起るといわれ、

## 北海道・口腔外科専門医所見では

## 9症例中5症例に改善が

この結果EGGFの分泌が減り、様々な疾患の治癒にも対応できなくなっていく。

いま、歯科学会ではこの唾液中のEGGFの重要性を説き、全力をあげてドライマウスの対策を講じようとしている。

## 抗老化医療

## Anti aging Medicine

「皮膚再生細胞因子EGGFは、アンチエイジングの主役「HGH」に比して劣らない、この抗老化促進で医療の販路拡大へ!

体内アンチエイジング医療で促進で医療の販路拡大へ!